

OTAKE

写真家・大竹省二展



2021.7.28[水]—8.22[日]

10:00～17:00 (16:30 最終入場) 会期中無休

グランシップ 6階展示ギャラリー (JR 東静岡駅南口隣接)

入場料：1,000円 ※前売り当日同額、こども・28歳以下の学生は無料

チケット発売日：5/23(日)～

チケット販売・お問い合わせ：

グランシップチケットセンター TEL.054-289-9000 (営業時間 10:00～18:30)

グランシップホームページ <https://www.granship.or.jp/>
(コンビニ引取手数料無料、電子チケット対応)

SHOJI

主催：公益財団法人静岡県文化財団、静岡県 後援：静岡県教育委員会
協力：大竹省二事務所、富士フィルム株式会社、株式会社コンタクト

「アーニー・パイルの踊り子」1947年

Photographer, Shoji Otake ©Ayumi Otake



OTAKE SHOJI

写真家・大竹省二展



静岡県掛川市(旧・小笠郡大須賀町)出身の写真家・大竹省二は、中学生の頃からカメラ雑誌の月例で入選を重ね、十代にしてアマチュアカメラマンとして注目を浴びる存在となりました。戦後、占領下の東京で、1946年からGHQ(連合国軍総司令部)広報部嘱託となり、米軍専用のアーニー・パイル劇場(現・東京宝塚劇場)にて、駐留兵士の慰問に訪れた歌手や女優を撮影し、写真家としての感性とテクニックを磨いていきます。

その後、ライフ東京支局、INP(米国通信社)を経て、フリーランスとなり、日本を代表する各界の著名人をはじめ、来日する一流の俳優や音楽家らを数多く撮影。婦人雑誌・週刊誌などで活躍し、女優やモデルを独自の視点でとらえ、女性ポートレートの第一人者として、一時代を築きました。

本展は「写真とは何か」という問いかけとともに、少年時代の作品、プロとして歩み始めた戦後の記録、昭和のポートレート、女性写真を紹介。作品とともに、写真家・大竹省二の生きた時代と足跡をたどり、あらためて「写真」の持つ表現力に光をあてます。



大竹省二 (おおたけ・しょうじ)

1922年、静岡県掛川市(旧・小笠郡大須賀町)に生まれる。伯父を頼り、上海・東亜同文書院に学び、1942年、学徒応召。1945年、東京に復員。1946年より、GHQ(連合国軍総司令部)広報部嘱託として勤務。INP(米国通信社)、ライフ東京支局を経て、1950年から、フリーランス。1953年、二科会写真部の創立会員となる。1992年、日本写真協会功労賞受賞。2015年没、享年93。



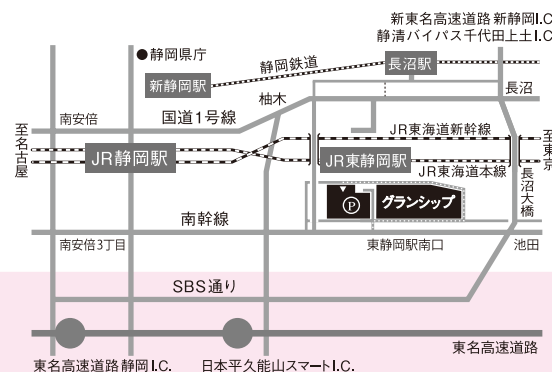
写真上から
「砂漠の女」1975年
「風と少女」1938年
「マリリン・モンローとジョー・ディマジオ」1954年
「三船久蔵(柔道家)」1959年
「パリ」1961年
「NUDE」撮影年不明

Photographer, Shoji Otake
©Ayumi Otake

【新型コロナウイルス感染拡大防止について、お客様へのお願い】
・発熱または風邪症状がある方は、ご来場をお控えください。
・マスク着用、検温、手指のアルコール消毒にご協力ください。
・会場内では他のお客様との距離を保ち、会話はお控えください。
・新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、本展覧会を変更中止する場合は、
【お客様へのお願い】の内容を変更する場合がありますので、
必ずグランシップホームページをご確認の上、ご来場ください。

■交通アクセス

- ・JR 東静岡駅南口隣接
- ・静岡鉄道長沼駅徒歩10分
- ・東海道新幹線(ひかり)で東京・名古屋から1時間。新大阪から2時間。JR 東静岡駅乗換、東静岡駅まで3分。
- ・車では東名高速道路静岡 I.C. から20分。日本平久能山スマート I.C. から10分。静岡バイパス千代田上土 I.C. から10分。



〒422-8019 静岡市駿河区東静岡 2丁目3番1号
グランシップ指定管理者：公益財団法人静岡県文化財団
<https://www.granship.or.jp/>

